

全日本ジュニアバドミントン選手権大会ジュニア新人の部大阪府予選会における

コロナウイルス感染対策

全日本ジュニアバドミントン選手権大会ジュニア新人の部大阪府予選会開催にあたり、以下の対策を講じながら運営いたします。

(1) 開催方法（運営等に関すること）

- ・入場できるのは、出場選手、引率者のみとします。
（引率者（監督を含む）は各学校・チーム2名までとする、ただし1名のみ出場の場合は1名とする）
- ・参加選手・引率者は申込用紙の右の方にある項目のチェックと朝の検温を記入のうえ、大会当日持参していただき、受付にて提出していただきます。（忘れた場合は棄権とみなします）
- ・会場に入る前に全員が検温・消毒をしていただきます。
- ・参加人数が多い場合は、一斉にフロアに集まることを回避するため、集合時間をずらします。
- ・競技中はフロア入り口の扉は開放します。
- ・開会式は行いません。表彰式はマスク着用で行います。
- ・出場選手がすべて負けたチームは、敗者審判終了後速やかに会場を出ていただきます（本部運営を除く）。ただし線審等が不足する場合、何名かにお手伝いをお願いするかもしれませんので、その際はよろしくをお願いします。
- ・昨年度の中体連の大会において、許可なく入場しようとされる方が見受けられたので、会場入り口にてIDカード（名札）を配布します。常時首から下げて、見えるようにしてください。許可なく入られているチームについては今後の参加を見合わせていただくことがあります。ご了承ください。
（お帰りの際は、必ず返却をお願いいたします）
- ・申し込みをした選手が、7月25日以降にコロナウイルスに感染した場合またはコロナウイルス感染症の濃厚接触者となった場合は、本部に連絡を入れてください。
- ・チーム内にコロナウイルスに感染した者が出た場合もしくはコロナウイルス感染症の濃厚接触者が出た場合は、その他の選手の参加の可否についてチームとして検討していただき、責任ある決定していただくようお願いいたします。

(2) 競技方法（競技に関すること）

- ・扉の開放と換気扇による換気などを行います。
- ・フロアに入る前・試合の前後には、必ず忘れないで消毒をしてください。
- ・試合前後の整列は、ショートサービスラインより後ろとし、握手は行わないものとします。
- ・ハイタッチ等の手が合わさる行動は禁止します。
- ・選手は、試合中に大きい声を出すことはしないようにしてください。
- ・応援は拍手のみとし、声を出しての応援をしないようにしてください。
- ・使用後のシャトルを再使用する場合、消毒作業は本部で行います。
- ・試合後は、すぐに手洗いをしてください。
- ・シャトルの受け渡しについては、ラケットで行うようにしてください。

(3) その他について

- ・引率責任者は選手の体調を把握し、体調がすぐれない選手を引率してこないようにしてください。体調のすぐれない選手には無理をさせず、試合を棄権させてください。（今大会は棄権によるオープン試合

は行いません)

- ・手洗いと消毒を励行してください。
- ・試合中の選手をのぞき、会場内ではマスクを必ず着用してください。試合終了後は速やかにマスクを着用してください。(勝ち上がり以外での食事は禁止とします。また食事をする際も黙食をお願いします)
- ・会場内は、事前に指定された場所で、間隔を空けて待機してください。
- ・保護者等が会場に来られない関係で、各チーム引率責任者の判断でビデオ撮影等を行う可能性があることをあらかじめご承知ください。撮影する際は、対戦相手に必ず了解をもらってください。
- ・今大会にて、コロナ感染者が確認された場合は、速やかに保健所等関係諸機関に連絡します。すべての参加者は、保健所等関係諸機関のその後の指示に従っていただきます。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会本部に対して速やかに連絡し、また濃厚接触者の有無についても連絡すること。